

特定非営利活動法人
日本結婚教育カウンセラー協会

平成26年度事業報告書
(平成26年4月1日から27年3月31日)

I 2014年度事業の成果報告

2013年2月12日に協会が発足し、多くの皆さまのご尽力をいただき無事に2期目の事業を終えることができました。地元奈良県を中心に地域に根差しNPOとして着実な歩みを進めることができたと思われる一年だったと思います。

当協会では、2014年度の重点目標として以下の点を掲げて活動を行ってきました。活動目標に沿っての活動内容を報告します。(目標に対し重複する行動内容はあります)

目標

- 1 婚育の更なる普及活動
- 2 婚育に関わる人材の育成
- 3 地域社会との協働、共創
- 4 カウンセラーによる相談業務の展開

1 婚育の更なる普及活動

- ① 結婚教育基礎講座の参加者を増やしたいとの思いで結婚教育基礎講座を結婚教育基礎講座Ⅰ、結婚教育アドバイザー認定講座を結婚教育基礎講座Ⅱ、Ⅲと名称を変更しての開催。

基礎講座の開講

福岡にて開催（7月26日：福岡事務機ビル会議室 13名参加）

奈良にて開催

（10月26日：毎日新聞社奈良支局3階ホール 45名参加）

（11月30日：同会場 30名参加）

（12月14日：同会場 23名参加）

東京にて開催

（1月18日：スクエア荏原 12名参加）

（2月22日：スクエア荏原 13名参加）

大阪にて開催（3月29日：クレオ大阪 27名参加）

結婚教育アドバイザー認定講座の開講

東京にて開催（4月20日：スクエア荏原 16名参加）

東京にて開催（5月24日：スクエア荏原 14名参加）

- ② 産経新聞、朝日新聞に結婚教育普及活動の記事が掲載。
- ③ 奈良新聞、朝日新聞に第1回いのちつなぐ講演会の模様を紹介。
- ④ 奈良県のソーシャルビジネスコンテストにおいて準優勝を受賞。
- ⑤ ピンクリボン大阪のイベントのブース出展
- ⑥ 奈良市ボランティアインフォメーションセンターにて2週間パネル展出展

2 婚育に関わる人材の育成

- ① 基礎講座ⅠⅡⅢ（旧アドバイザー認定講座）への参加で知識の強化。
- ② 婚育研究会の継続的開催がカウンセラー主体で開催できたこと。
- ③ 婚育研究会の開催（第三金曜日開催）
 - 第3回：5月16日：難波生涯学習センター 19名参加（部外者8名）
 - 第4回：7月21日：難波生涯学習センター 9名参加（部外者2名）
 - 第5回：9月18日：阿倍野生涯学習センター17名参加（部外者7名）
 - 第6回：11月21日：阿倍野生涯学習センター10名参加（部外者5名）
 - 第7回：2015年1月16日：難波生涯学習センター17名参加（部外者7名）
 - 第8回：2015年3月20日：難波生涯学習センター11名参加（部外者5名）
- ④ ワンコイン相談会の開催を8月より継続的に行っていること。
- ⑤ 奈良赤い羽根街頭募金活動に参加し社会貢献事業への参加を行う（近鉄奈良駅前にて）
- ⑥ 婚育プレゼン大会の開催（1月24日：奈良市はぐくみセンター 18名）
婚育アドバイザー、婚育カウンセラーの講座開講のスキルアップをめざす。
奈良市市議会議員さん、一般市民も参加しご意見をくださる。
- ⑦ 関東にて「婚育ワンデー」を開催。（12月6日 述べ人数45名）
婚育アドバイザー、カウンセラーが力を合わせ開催してくださいました。
- ⑧ 会員の知識強化をめざし、勉強会や懇親会の開催
「自分の思いを正確に伝える術を学ぼう」講師福井正樹先生（4月6日：37名）
「ジェンダーバイアスってなに？豊かな結婚生活にどう生かすのか？」講師福井正樹氏（9月14日：20名）
夏の宴の開催（協会関係者以外の方も参加となり総数20名参加）
- ⑨ 滋賀県東近江市のNPO団体より結婚塾の講師依頼を受託し、1名の理事、2名のカウンセラーを派遣講師とする。
- ⑩ 奈良県橿原市より「結婚応援講座」の講師依頼を受託し、代表、1名のカウンセラー、1名のアドバイザーを派遣講師とする。
- ⑪ 生駒市において永谷めぐみカウンセラーが「生駒婚育プロジェクト」と生駒市の支援団体に登録、活動を展開。協会のカウンセラー、理事、顧問、が講師として依頼を受け受託。カウンセラーの活動が市民活動において展開する第一歩となる。
- ⑫ カウンセラーを筆頭としたアドバイザーの含む婚育メンバーの多大な尽力により
「漫画結婚教育を学ぼう」一万冊の配布が2か月で完了。
- ⑬ 機関紙の発行「JMCCA通信」第2号を発行。
全国に点在している有資格会員が協会における活動の認知と理解を深めることを目的。
- ⑭ 毎月第一水曜日に行うカウンセラー会議の定例化。
- ⑮ カウンセラー3期生の養成は1、2期の先輩カウンセラーで対応の準備に入れた。

3 地域社会との融合、共創

- ① 赤い羽根共同募金助成金を受け「漫画結婚教育を学ぼう」が完成し、奈良県下1万冊の配布が終了した。生駒市においては幼稚園や保育園の全園児に配布された。
- ② 7月に第1回いのちつなぐ講演会を開催。
- ③ 奈良県橿原市と初の協働事業が開催できた。
- ④ 奈良県のソーシャルビジネスコンテストにおいて準優勝を果たしNPO団体として認知される活動をスタートできた。
- ⑤ 奈良県議会子育て支援・少子化対策特別委員会にて「結婚教育から共に考える」を講演
- ⑥ 橿原市より「結婚応援講座」の依頼により講演活動を行う
- ⑦ 第1回いのちつなぐ講演会開催162名の参加（奈良県、奈良市、大和高田市、大和郡山市、天理市、王寺町、毎日、産経、読売、朝日、奈良、奈良日々新聞社の後援をいただく）
- ⑧ 奈良市ボランティアインフォメーションセンターにて2週間パネル展出展
- ⑨ 奈良市「やさしい街作りフォーラム」にとの協働できるNPO4団体に選出され、山田純子理事（カウンセラー）がパネラーとしてパネルディスカッションに中川県知事と登壇した。

4 カウンセラーによる相談業務の展開

- ① 結婚教育カウンセラーの個人相談回数が1600回を超える実績を積むことができた。
- ② 金原佐栄カウンセラーが和歌山市内の老人ホームにて個別相談会を有料にてカウンセリングを開始。
- ③ 個人セッションを協会ですることができるようにチラシの作成を行い計3名のご相談依頼を受ける。

Ⅱ 本年度の反省および次年度にむけての課題

- (1) HP制作に関し事業内容の変化があるため、制作完成にいたることはできなかったが、奈良NPOセンター奥村理事のご協力をいただき現在NPOセンターの長田氏により制作をしていただいている。次年度には完成予定。
- (2) 関東にて12月に開催された婚育ワンデーは一部「基礎講座13,000円の受講料では高額だから、人を誘えない。事前に何かイベントをしてほしい」と婚育普及に尽力をしようとしてくださるご要望を受け開催。
しかしながら、実際に事前準備など主として活動をしてくださったメンバーにとって負担が多かったためにワンデー以降、関東での婚育普及における顕著な意欲低下につながったように思われる。関東は活動拠点となるべき場所もなく、また、主たる軸となるメンバーも不在の中、この会を成功させなくてはならないとの負担に思うメンバーも多かったように声を聞いており、今後、関東における活動の在り方を再度次年度の課題と考えていくこととする。
- (3) 協会の本拠地である関西の足元を固め、盤石な結婚教育普及にむけて2016年、晴れやかな3周年を迎える準備に向かう。
- (4) メディア対策や活動の認知を積極的に行う必要があると考える。

Ⅲ 協会の運営に関する事項

1 2014年度 会員総数（2015年3月31日現在）
NPO会員・・・10名 正資格会員・・・13名 准資格会員・・・30名
計53名

2 運営体制

顧問 福井正樹氏 辻由起子氏

人員体制

代表理事 棚橋 美枝子（運営責任）

副理事 佐田 俊弘（運営補佐）

理事 山田 純子（運営補佐）

理事 金親 國夫（業務補佐）

理事 安藤 美樹（事務局補佐）

監事 玉島麻理

事務局 田島 由美子